

大学院総合理工学研究科規則

(平成16年島大総合理工学部規則第2号)

[平成16年 4月 1日 制定]

[令和 2年12月23日 最終改正]

(趣旨)

第1条 島根大学大学院総合理工学研究科(以下「研究科」という。)に関する事項については、大学院学則(平成16年島大学則第3号、以下「学則」という。)及びこれに基づく特別の定めのあるもののほか、この規則の定めるところによる。

(教育研究上の目的)

第1条の2 研究科は、次の各号に掲げる課程において、高度の専門的知識と総合的視野を持った高度技術者・研究者の育成を目的とする。

- 一 博士前期課程では、専攻する分野の体系的知識・技術や研究方法を修得し、応用力、課題探求能力とともに関連する分野の基礎的素養を持った人材を育成する。
- 二 博士後期課程では、専攻する分野の高度な知識・技術をさらに深め、これを活用する能力、独立して高度な技術開発や研究を遂行できる基礎的能力とともに、幅広い視野と後進を指導・助言できる基礎的能力を持った人材を育成する。

(専攻)

第2条 研究科に次の専攻を置く。

博士前期課程

総合理工学専攻

博士後期課程

総合理工学専攻

第2条の2 削除

第2条の3 削除

(教育コース及び教育研究コース)

第2条の4 博士前期課程の専攻に置く教育コース及び博士後期課程の専攻に置く教育研究コースは、次のとおりとする。

博士前期課程

総合理工学専攻

理工・医連携，物理・材料科学，物質化学，地球資源環境学，数理学，情報システム学，機械・電気電子工学，建築・生産設計工学

博士後期課程

総合理工学専攻

理工学際創成，数理・物質創成科学，地球科学・地球環境，機械電子情報工学

第2条の5 削除

第2条の6 削除

(教育組織の編成)

第3条 研究科は本学の教授，准教授，講師及び助教のうち，研究科における教育及び研究指導を担当する資格を有する者をもって編成する。

(入学の時期)

第3条の2 入学の時期は、4月又は10月とする。

(再入学者及び転入学者の修業年限)

第4条 学則第12条又は第13条の規定により、再入学又は転入学を許可された者の修業年限は、当該志願者の合否を決定するときに、研究科教授会の議を経て決定する。

(再入学者及び転入学者の在学年限)

第5条 学則第12条又は第13条の規定により、再入学又は転入学を許可された者の在学年限は、別に定める。

(教育方法)

第6条 研究科における教育は、授業科目の授業及び学位論文の作成等に対する指導(以下「研究指導」という。)により行う。

(社会人学生に対する教育方法の特例)

第7条 研究科教授会が教育上特別の必要があると認めたときは、夜間その他特定の時間又は時期に授業及び研究指導を行うことができる。

2 前項の規定を適用する学生に対しては、入学時に博士前期課程においては2年間、博士後期課程においては3年間にわたる授業科目の開講計画をあらかじめ予告し、2年間又は3年間を見通した履修計画をたてさせるものとする。

(教育研究特別プログラムに対する教育方法の特例)

第8条 研究科教授会が教育上特別の必要があると認めたときは、英語による授業及び研究指導を行うことができる。

2 前項の規定による特別の履修課程は、英語による「地球」教育研究特別プログラム(以下「教育研究特別プログラム」という。)とし、4月又は10月から授業及び研究指導を開始するものとする。

3 教育研究特別プログラムに先端地球科学、地球資源学及び地球環境災害学専修分野を置く。

4 教育研究特別プログラムの学生は、前項に定める専修分野のうち、博士前期課程にあつては、研究科教授会が定める教育コース及び専修分野に所属するものとし、博士後期課程にあつては、研究科教授会が定める教育研究コース及び専修分野に所属するものとする。

5 前4項に定めるもののほか、教育研究特別プログラムに関し必要な事項は、別に定める。

(特別研究の単位の計算方法)

第9条 博士前期課程の特別研究は、開設する教育コースの指導の形態に応じ、演習又は実験として取り扱うものとし、教育コースごとに次の基準により計算するものとする。

理工・医連携コースの特別研究 演習又は実験 30時間から45時間の研究指導をもって1単位とする。

物理・材料科学コースの特別研究 演習又は実験 30時間の研究指導をもって1単位とする。

物質化学コースの特別研究 実験 30時間の研究指導をもって1単位とする。

地球資源環境学コースの特別研究 実験 45時間の研究指導をもって1単位とする。

数理科学コースの特別研究 演習 30時間の研究指導をもって1単位とする。

情報システム学コースの特別研究 演習 30時間の研究指導をもって1単位とする。

機械・電気電子工学コースの特別研究 実験 45時間の研究指導をもって1単位とする。

建築・生産設計工学コースの特別研究 演習又は実験 30時間の研究指導をもって1単位とする。

(授業科目及び単位数等)

第10条 研究科における授業科目及び単位数等は、博士前期課程においては別表第1、博士後期課程においては別表第2に掲げるとおりとする。

2 研究科教授会が教育又は研究上必要と認めたときは、特別に授業科目を開設することができる。

(指導教員)

第11条 学生の授業科目の履修指導及び研究指導を行うため、指導教員を置く。

2 博士前期課程の指導教員は、学生ごとに主指導教員を1名置くものとする。

3 前項に規定する主指導教員のほかに、必要がある場合には、副指導教員を置くことができるものとする。

4 第2項及び前項に規定する主指導教員及び副指導教員は、博士前期課程を担当する者のうちから、研究科教授会の議を経て決定する。

5 第2項に規定する主指導教員は、博士前期課程を担当する教授をもって充てる。ただし、研究科教授会において必要と認めたときは、博士前期課程を担当する准教授又は講師とすることができる。

6 博士後期課程の指導教員は、学生ごとに主指導教員1名及び副指導教員3名以上を博士後期課程を担当する者のうちから、研究科教授会の議を経て決定する。なお、副指導教員のうちの1名以上は、隣接する関連分野の教員とする。

7 前項の主指導教員は、博士後期課程の研究指導の資格を有する教授をもって充てる。ただし、研究科教授会において必要と認めたときは、博士後期課程の研究指導の資格を有する准教授とすることができる。

(研究指導計画)

第11条の2 前条第2項及び第6項に定める主指導教員は、一年間の研究指導の計画を学生にあらかじめ明示するために、学生ごとに学位論文又は特定の課題についての研究の成果(以下「学位論文等」という。)の作成に対する研究指導計画書を作成し、研究科長に提出しなければならない。

2 前項に定めるもののほか、研究指導計画に関し必要な事項は別に定める。
(履修方法)

第12条 学生は、博士前期課程にあつては、所属する教育コース及び他の教育コースの授業科目のうちから30単位以上、博士後期課程にあつては、所属する教育研究コース及び他の教育研究コースの授業科目のうちから12単位以上を修得し、かつ、研究指導を受けなければならない。

2 学生は授業科目を履修しようとするときは、あらかじめ指導教員の指示に従い、履修しようとする授業科目を定め、所定の期日までに研究科長に届け出なければならない。

3 前2項に定めるもののほか、履修に関し必要な事項は、別に定める。

第13条 削除

2 削除

第 13 条の 2 削除

2 削除

(教育研究特別プログラムの学生の履修の特例)

第 14 条 教育研究特別プログラムの学生は、第 12 条第 1 項の規定にかかわらず、次の各号に定めるとおりとする。

- 一 博士前期課程においては、別表第 3 に掲げる英語で行う授業科目の中から、専修する分野の特別研究 12 単位、セミナー 4 単位及びこれ以外の授業科目の中から 14 単位以上の合計 30 単位以上を修得し、かつ、研究指導を受けなければならない。
- 二 博士後期課程においては、別表第 4 に掲げる英語で行う授業科目の中から、専修する分野の論文研究 4 単位、セミナー 2 単位及びこれ以外の授業科目の中から 6 単位以上の合計 12 単位以上を修得し、かつ、研究指導を受けなければならない。
- 三 外国人留学生以外の学生については、前 2 号に定める特別研究、論文研究及びセミナーは日本語で行うことができるものとする。

2 前項に定めるもののほか、履修に関し必要な事項は、別に定める。

(他の大学の大学院等の授業科目の履修)

第 15 条 学生は、学則第 20 条の規定により、研究科が別に定める他の大学の大学院又は外国の大学院等（以下「他の大学の大学院等」という。）の授業科目を履修することができる。

- 2 学生は、前項の規定により、他の大学の大学院等の授業科目を履修しようとするときは、研究科長を経て、学長の許可を受けなければならない。
- 3 第 1 項の規定により修得した単位は、10 単位を限度として第 12 条第 1 項の単位に含めることができる。
- 4 前 3 項に定めるもののほか、他の大学の大学院等の授業科目の履修については、別に定める。

(他の大学の大学院等における研究指導)

第 16 条 学生は、学則第 21 条の規定により、他の大学の大学院又は研究所等において、必要な研究指導を受けることができる。ただし、研究指導を受ける期間は、博士前期課程の学生にあつては 1 年を超えることができない。

2 学生は、前項の規定により、他の大学の大学院又は研究所等で研究指導を受けようとするときは、研究科長を経て、学長の許可を受けなければならない。

- 3 前 2 項に定めるもののほか、他の大学の大学院又は研究所等における研究指導については、別に定める。

(単位の授与)

第 17 条 単位は、学生が履修した授業科目について、授業科目担当教員が行う試験に合格したときに与える。

- 2 前項の規定による試験は、学期末、学年末又は学期の中途において筆記試験若しくは口頭試験又は研究報告書等によって行うものとする。

(追試験)

第 18 条 学生は、病気その他やむを得ない理由により、前条第 1 項の試験を受けることができなかつた場合は、研究科長に願い出て、授業科目担当教員の承認の上、追試験を受けることができる。

(学位論文等)

第 19 条 学生は、指導教員の承認を得て、所定の期日までに、学位論文等を研究科長に提出しなければならない。

2 学位論文等の審査及び最終試験に関する事項については、別に定める。
(特別聴講学生)

第 20 条 特別聴講学生の受入等について必要な事項は、別に定める。
(特別研究学生)

第 21 条 特別研究学生の受入等について必要な事項は、別に定める。
(教育職員免許状)

第 22 条 研究科において所要資格を取得できる教育職員の免許状の種類等は、次のとおりとする。

専攻	種類・教科	免許状の種類・教科	
		中学校教諭専修免許状	高等学校教諭専修免許状
博士前期課程 総合理工学専攻		理科, 数学	理科, 数学, 情報, 工業

(組織的研修等)

第 23 条 授業及び研究指導の内容並びに方法の改善を図るため、組織的な研修及び研究を実施するものとする。

附 則

- 1 この規則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 島根大学大学院学則(平成 16 年島大学則第 3 号)附則第 2 項の規定に基づき、平成 15 年 9 月 30 日において島根大学大学院総合理工学研究科(以下「旧島根大学大学院総合理工学研究科」という。)に在学する者(以下「在学者」という。)及び平成 16 年 4 月以降に在学者の所属する年次に再入学又は転入学する者(以下「再入学者等」という。)が旧島根大学大学院総合理工学研究科を修了するために必要であった教育課程の履修は島根大学大学院総合理工学研究科が行うものとし、在学者及び再入学者等の教育課程に関し必要な事項は平成 15 年 9 月 30 日における旧島根大学大学院総合理工学研究科規則等の定めるところによる。
- 3 平成 15 年 10 月 1 日以降島根大学大学院総合理工学研究科外国人留学生特別コースに入学し、この規則の施行日の前日に当該コースに在学する者の教育課程に関し必要な事項は、この規則の施行日の前日における島根大学大学院総合理工学研究科規則等の定めるところによる。

附 則

- 1 この規則は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 16 年度以前の入学生については、この規則による改正後の島根大学大学院総合理工学研究科規則別表第 1 及び別表 2 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規則は、平成 17 年 10 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 17 年度以前の入学生については、この規則による改正後の島根大学大学院総合理工学研究科規則別表第 1 及び別表第 2 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 平成18年度以前の入学生及び当該入学生と同学年に再入学又は転入学する者については、この規則による改正後の島根大学大学院総合理工学研究科規則第8条、第9条及び第14条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 平成19年度以前の入学生及び当該入学生と同学年に再入学又は転入学する者については、この規則による改正後の島根大学大学院総合理工学研究科規則別表第1及び別表第2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 平成20年度以前の入学生及び当該入学生と同学年に再入学又は転入学する者については、この規則による改正後の島根大学大学院総合理工学研究科規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 平成21年度以前の入学生及び当該入学生と同学年に再入学又は転入学する者については、この規則による改正後の島根大学大学院総合理工学研究科規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成22年度以前の入学生及び当該入学生と同学年に再入学又は転入学する者については、この規則による改正後の島根大学大学院総合理工学研究科規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成23年度以前の入学生及び当該入学生と同学年に再入学又は転入学する者については、この規則による改正後の島根大学大学院総合理工学研究科規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 平成24年度以前の入学生及び当該入学生と同学年に再入学又は転入学する者については、この規則による改正後の島根大学大学院総合理工学研究科規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 平成25年度以前の入学生及び当該入学生と同学年に再入学又は転入学する者については、この規則による改正後の島根大学大学院総合理工学研究科規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成26年度以前の入学生及び当該入学生と同学年に再入学又は転入学する者については、この規則による改正後の島根大学大学院総合理工学研究科規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成27年10月28日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成27年度以前の入学生及び当該入学生と同学年に再入学又は転入学する者については、この規則による改正後の島根大学大学院総合理工学研究科規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成28年度以前の入学生及び当該入学生と同学年に再入学又は転入学する者については、この規則による改正後の島根大学大学院総合理工学研究科規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規則は、平成29年4月26日から施行し、平成29年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成29年8月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 平成29年度以前の入学生及び当該入学生と同学年に再入学又は転入学する者については、この規則による改正後の島根大学大学院総合理工学研究科規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成31年3月20日 一部改正）

- 1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成30年度以前入学生及び当該入学生と同学年に再入学又は転入学する者については、この規則による改正後の島根大学大学院総合理工学研究科規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、別表第2の各コース備考については、平成30年度以前の入学生（当該入学生と同学年に再入学又は転入学する者も含む。）にあっても適用する。

附 則（令和2年12月23日一部改正）

この規則は、令和3年1月1日から施行する。

島根大学大学院総合理工学研究科規則別表第1
理工・医連携コース

科目区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択 必修	選択	
専攻 共通科目	英語教育科目	学術英語演習		2	専攻共通科目6単位以上、必修科目14単位（特別研究とセミナーは同一の記号のものを選択すること。）及び高度専門科目10単位以上を修得し、合計30単位以上修得すること。
		現代英語語法文法演習		2	
		英語運用演習Ⅰ		2	
		英語運用演習Ⅱ		2	
		英語運用演習Ⅲ		2	
		TOEIC対応英語演習		2	
	技術者教育科目	研究開発マネジメント（MOT）基礎概論		2	
	高度基礎科目	物質科学基礎		2	
		物質科学ゼミナール		2	
		地球資源環境学基礎		2	
		数理科学基礎Ⅰ		2	
		数理科学基礎Ⅱ		2	
		情報科学基礎		2	
		機械電気電子システム基礎		2	
		建築・生産設計工学基礎		2	
Earth and Earth Resource Science 地球・地球資源科学			2		
Earth and Geoenvironmental Science 地球・地球環境災害科学			2		
必修科目	特別研究Ⅰa	10			
	特別研究Ⅰb	10			
	特別研究Ⅰc	10			
	特別研究Ⅰd	10			
	セミナーⅠa	4			
	セミナーⅠb	4			
	セミナーⅠc	4			
	セミナーⅠd	4			
高度専門科目	電子材料学			2	
	結晶材料学			2	
	複合材料学			2	
	電子材料プロセス概論			2	
	機能性高分子特論Ⅰ			2	
	環境分析化学特論			2	
	無機化学特論Ⅰ			2	
	無機化学特論Ⅱ			2	
	有機化学特論Ⅰ			2	
	有機化学特論Ⅱ			2	
	高機能触媒特論Ⅰ			2	
	高機能触媒特論Ⅱ			2	
	機能性セラミックス特論			2	
	無機材料物性工学特論Ⅰ			2	
	地球環境科学			2	
エネルギー資源の有機地球化学			2		

科目区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択 必修	選択	
高度専門科目	統計科学論			2	
	ユーザ中心システム設計学特論			2	
	福祉情報学特論			2	
	知能情報処理学特論			2	
	半導体フォトニクス工学			2	
	光応用計測論			2	
	光エレクトロニクス通信工学			2	
	アメニティ材料学特論			2	
	精密工学特論			2	
	木質分子生物学			2	
	木質科学特論			2	
	理工医学のための生物材料学の基礎			2	
	機能性物質・食品の応用の基礎			2	
	医生物学と数学・情報科学の接点			2	
	臨床・社会・環境医学と高度情報学の接点			2	
	医療のための光工学の基礎			2	
	放射線の医療応用と同位元素の水環境への影響 I			2	
	発明の権利化と社会貢献			2	
	実践教育プロジェクト			4	
	長期インターンシップ			2	
海外インターンシップ			2		

備考

1 専攻共通科目の修得方法

英語教育科目，技術者教育科目及び高度基礎科目の中から6単位を修得しなければならない。

なお，専攻共通科目を6単位を超えて修得した場合には，修了要件に必要な単位数に含めることはできない。

2 他コースの高度専門科目は，本コースの高度専門科目の選択科目に置き換えることができるが，本コースの高度専門科目は4単位以上修得しなければならない。

物理・材料科学コース

科目区分	授業科目	単位数			備考	
		必修	選択必修	選択		
専攻共通科目	英語教育科目	学術英語演習		2		専攻共通科目6単位以上、必修科目16単位（特別研究とセミナーは同一の記号のものを選択すること。）及び高度専門科目8単位以上を修得し、合計30単位以上修得すること。
		現代英語語法文法演習		2		
		英語運用演習Ⅰ		2		
		英語運用演習Ⅱ		2		
		英語運用演習Ⅲ		2		
		TOEIC対応英語演習		2		
	技術者教育科目	研究開発マネジメント（MOT）基礎概論		2		
	高度基礎科目	物質科学基礎		2		
		物質科学ゼミナール		2		
		地球資源環境学基礎		2		
		数理科学基礎Ⅰ		2		
		数理科学基礎Ⅱ		2		
		情報科学基礎		2		
		機械電気電子システム基礎		2		
		建築・生産設計工学基礎		2		
		Earth and Earth Resource Science 地球・地球資源科学		2		
		Earth and Geoenvironmental Science 地球・地球環境災害科学		2		
	必修科目	特別研究Ⅲa	12			
		特別研究Ⅲd	12			
セミナーⅢa		4				
セミナーⅢd		4				
高度専門科目	金属材料学			2		
	電子材料学			2		
	結晶材料学			2		
	材料評価学			2		
	金属化合物の磁性			2		
	複合材料学			2		
	磁性物理学			2		
	低温物理学			2		
	超伝導概論			2		
	電子材料プロセス概論			2		
	非平衡物理学			2		
	素粒子物理学Ⅰ			2		
	素粒子物理学Ⅱ			2		
	統計場の理論			2		
	固体電子論			2		
	電子物性特論			2		
	プラズマ・材料相互作用特論			2		
	振動分光学			2		
	特別実習			1		
	物質構造特別講義 1 a			2		
	物質構造特別講義 1 b			1		
	物質構造特別講義 2 a			2		
	物質構造特別講義 2 b			1		
	物質構造特別講義 3 a			2		

科目区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択 必修	選択	
高度専門科目	物質構造特別講義 3 b			1	
	物質構造特別講義 4 a			2	
	物質構造特別講義 4 b			1	
	物質構造特別講義 5 b			1	
	物質構造特別講義 6 b			1	
	物質構造特別講義 7 b			1	
	物質機能特別講義 1 a			2	
	物質機能特別講義 1 b			1	
	物質機能特別講義 2 b			1	
	物質機能特別講義 3 a			2	
	物質機能特別講義 3 b			1	
	物質機能特別講義 4 b			1	
	量子物理特別講義 1 a			2	
	量子物理特別講義 1 b			1	
	量子物理特別講義 2 a			2	
	量子物理特別講義 2 b			1	
	量子物理特別講義 3 a			2	
	量子物理特別講義 3 b			1	
	量子物理特別講義 4 a			2	
	量子物理特別講義 4 b			1	
	量子物理特別講義 5 b			1	
	☆物質構造概論 I			2	
	☆物質構造概論 II			2	
	☆物質機能概論 I			2	
	☆量子物理学概論 I			2	
	☆量子物理学概論 II			2	
	実践教育プロジェクト			4	
	長期インターンシップ			2	
	海外インターンシップ			2	

備考

1 専攻共通科目の修得方法

英語教育科目，技術者教育科目及び高度基礎科目の中から6単位を修得しなければならない。

なお，専攻共通科目を6単位を超えて修得した場合には，修了要件に必要な単位数に含めることはできない。

2 他コースの高度専門科目は，本コースの高度専門科目の選択科目に置き換えることができるが，本コースの高度専門科目は6単位以上修得しなければならない。

3 ☆印の授業科目は，第7条の規定の適用を受ける学生以外の者は履修することができない。

物質化学コース

科目区分	授業科目	単位数			備考	
		必修	選択必修	選択		
専攻共通科目	英語教育科目	学術英語演習		2	専攻共通科目6単位以上、必修科目14単位（特別研究とセミナーは同一の記号のものを選択すること。）及び高度専門科目10単位以上を修得し、合計30単位以上修得すること。	
		現代英語語法文法演習		2		
		英語運用演習Ⅰ		2		
		英語運用演習Ⅱ		2		
		英語運用演習Ⅲ		2		
		TOEIC対応英語演習		2		
	技術者教育科目	研究開発マネジメント（MOT）基礎概論		2		
	高度基礎科目	物質科学基礎		2		
		物質科学ゼミナール		2		
		地球資源環境学基礎		2		
		数理科学基礎Ⅰ		2		
		数理科学基礎Ⅱ		2		
		情報科学基礎		2		
		機械電気電子システム基礎		2		
		建築・生産設計工学基礎		2		
		Earth and Earth Resource Science 地球・地球資源科学		2		
		Earth and Geoenvironmental Science 地球・地球環境災害科学		2		
	必修科目	特別研究Ⅳa	10			
		特別研究Ⅳd	10			
セミナーⅣa		4				
セミナーⅣd		4				
高度専門科目	無機化学特論Ⅰ			2		
	無機化学特論Ⅱ			2		
	有機化学特論Ⅰ			2		
	有機化学特論Ⅱ			2		
	有機化学特論Ⅲ			2		
	高機能触媒特論Ⅰ			2		
	高機能触媒特論Ⅱ			2		
	機能性高分子特論Ⅰ			2		
	機能性高分子特論Ⅱ			2		
	機能性セラミックス特論			2		
	物質化学特論Ⅱ			2		
	環境分析化学特論			2		
	無機材料物性工学特論Ⅰ			2		
	無機材料物性工学特論Ⅱ			2		
	繊維材料学特論			2		
	特別実習			1		
	物質化学実習			1		
	物質化学特別講義1			1		
	物質化学特別講義2			1		
	物質化学特別講義3			1		
	物質化学特別講義4			1		
	☆物質化学概論Ⅱ			2		
	☆物質化学概論Ⅲ			2		
☆機能性材料設計特論			2			
実践教育プロジェクト			4			

科目区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択 必修	選択	
高度専門科目	海外インターンシップ			2	

備考

- 1 専攻共通科目の修得方法
英語教育科目，技術者教育科目及び高度基礎科目の中から6単位を修得しなければならない。
なお，専攻共通科目を6単位を超えて修得した場合には，修了要件に必要な単位数に含めることはできない。
- 2 他コースの高度専門科目は，本コースの高度専門科目の選択科目に置き換えることができるが，本コースの高度専門科目は6単位以上修得しなければならない。
- 3 ☆印の授業科目は，第7条の規定の適用を受ける学生以外の者は履修することができない。

地球資源環境学コース

科目区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択必修	選択	
専攻共通科目	英語教育科目	学術英語演習		2		専攻共通科目4単位以上、必修科目16単位及び高度専門科目10単位以上を修得し、合計30単位以上修得すること。
		現代英語語法文法演習		2		
		英語運用演習Ⅰ		2		
		英語運用演習Ⅱ		2		
		英語運用演習Ⅲ		2		
	TOEIC対応英語演習		2			
	高度基礎科目	物質科学基礎		2		
		物質科学ゼミナール		2		
		地球資源環境学基礎		2		
		数理科学基礎Ⅰ		2		
		数理科学基礎Ⅱ		2		
		情報科学基礎		2		
		機械電気電子システム基礎		2		
		建築・生産設計工学基礎		2		
		Earth and Earth Resource Science 地球・地球資源科学		2		
		Earth and Geoenvironmental Science 地球・地球環境災害科学		2		
	必修科目	特別研究Ⅴa	12			
		セミナーⅤa	4			
	高度専門科目	変成岩と変成作用			2	
鉱物学特論				2		
岩石化学特論				2		
資源地質学特論				2		
エネルギー資源の有機地球化学				2		
構造地質学特論				2		
生層序学				2		
環境古生物学				2		
堆積地質学				2		
地球環境科学				2		
地球環境変動論				2		
汽水域生態学				2		
海洋環境科学特論				2		
防災工学特論				2		
応用地質学特論				2		
地殻流体工学				2		
地盤解析学				2		
海岸・沿岸地質環境学				2		
第四紀環境学				2		
地球資源環境学特別講義Ⅰ				2		
地球資源環境学特別講義Ⅱ				4		
ジオサイエンス特別実習Ⅰ				2		
ジオサイエンス特別実習Ⅱ				1		
ジオサイエンス特別実習Ⅲ			2			

科目区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択 必修	選択	
高度専門科目	英語による発表Ⅰ			2	
	英語による発表Ⅱ			2	
	☆地球資源環境学Ⅰ			4	
	☆地球資源環境学Ⅱ			4	
	☆ジオサイエンス原理			4	
	海外インターンシップ			2	

備考

1 専攻共通科目の修得方法

英語教育科目及び高度基礎科目の中から4単位を修得しなければならない。

なお、専攻共通科目を4単位を超えて修得した場合には、修了要件に必要な単位数に含めることはできない。

2 他コースの高度専門科目は、本コースの高度専門科目の選択科目に置き換えることができるが、本コースの高度専門科目は6単位以上修得しなければならない。

3 ☆印の授業科目は、第7条の規定の適用を受ける学生以外の者は履修することができない。

数理科学コース

科目区分	授業科目	単位数			備考		
		必修	選択必修	選択			
専攻共通科目	英語教育科目	学術英語演習		2		専攻共通科目4単位以上、必修科目14単位及び高度専門科目12単位以上を修得し、合計30単位以上修得すること。	
		現代英語語法文法演習		2			
		英語運用演習Ⅰ		2			
		英語運用演習Ⅱ		2			
		英語運用演習Ⅲ		2			
		TOEIC対応英語演習		2			
	高度基礎科目	物質科学基礎		2			
		物質科学ゼミナール		2			
		地球資源環境学基礎		2			
		数理科学基礎Ⅰ		2			
		数理科学基礎Ⅱ		2			
		情報科学基礎		2			
		機械電気電子システム基礎		2			
		建築・生産設計工学基礎		2			
		Earth and Earth Resource Science 地球・地球資源科学		2			
		Earth and Geoenvironmental Science 地球・地球環境災害科学		2			
		必修科目	特別研究Ⅵb	8			
			セミナーⅥb	6			
		高度専門科目	ガロアコホモロジー				2
代数学				2			
リーマン幾何学				2			
リー代数				2			
代数位相幾何学				2			
微分位相幾何学				2			
力学系とエルゴード理論				2			
応用遅延微分方程式論				2			
定性的微分方程式論				2			
数理生物学				2			
凸解析非線形関数解析				2			
関数解析				2			
複素関数論				2			
金融数学				2			
統計科学論				2			
微分方程式と有限差分法				2			
無限次元位相幾何学				2			
ホモロジー代数				2			
数値近似法				2			
微分方程式の安定性理論				2			
楕円型偏微分方程式論				2			
双曲型偏微分方程式論				2			
放物型偏微分方程式論				2			
信号処理と数値解析				2			
数学海外研修				2			
数理科学特論Ⅰ				2			
数理科学特論Ⅱ				2			

科目区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択 必修	選択	
高度専門科目	数理科学特論Ⅲ			2	
	数理科学特論Ⅳ			2	
	数理科学特論Ⅴ			2	
	数理科学特論Ⅵ			2	
	数理科学特論Ⅶ			2	
	数理科学特論Ⅷ			2	
	数理科学特論Ⅸ			2	
	数理科学特論Ⅹ			2	
	☆数理構造学概論Ⅰ			2	
	☆数理構造学概論Ⅱ			2	
	☆数理構造学概論Ⅲ			2	
	☆数理構造学概論Ⅳ			2	
	☆数理構造学概論Ⅴ			2	
	☆数理構造学概論Ⅵ			2	
	☆数理構造学概論Ⅶ			2	
	☆数理構造学概論Ⅷ			2	
	☆数理解析学概論Ⅰ			2	
	☆数理解析学概論Ⅱ			2	
	☆数理解析学概論Ⅲ			2	
	☆数理解析学概論Ⅳ			2	
	☆数理解析学概論Ⅴ			2	
	☆数理解析学概論Ⅵ			2	
	☆数理解析学概論Ⅶ			2	
	☆数理解析学概論Ⅷ			2	
	☆数理解析学概論Ⅸ			2	
	☆数理解析学概論Ⅹ			2	
海外インターンシップ			2		

備考

- 専攻共通科目の修得方法
英語教育科目及び高度基礎科目の中から4単位を修得しなければならない。
なお、専攻共通科目を4単位を超えて修得した場合には、修了要件に必要な単位数に含めることはできない。
- 他コースの高度専門科目は、本コースの高度専門科目の選択科目に置き換えることができるが、本コースの高度専門科目は6単位以上修得しなければならない。
- ☆印の授業科目は、第7条の規定の適用を受ける学生以外の者は履修することができない。

情報システム学コース

科目区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択必修	選択	
専攻 共通科目	英語教育科目	学術英語演習		2		専攻共通科目6単位以上、必修科目14単位及び高度専門科目10単位以上を修得し、合計30単位以上修得すること。
		現代英語語法文法演習		2		
		英語運用演習Ⅰ		2		
		英語運用演習Ⅱ		2		
		英語運用演習Ⅲ		2		
		TOEIC対応英語演習		2		
	技術者教育科目	研究開発マネジメント (MOT) 基礎概論		2		
	高度基礎科目	物質科学基礎		2		
		物質科学ゼミナール		2		
		地球資源環境学基礎		2		
		数理科学基礎Ⅰ		2		
		数理科学基礎Ⅱ		2		
		情報科学基礎		2		
		機械電気電子システム基礎		2		
		建築・生産設計工学基礎		2		
		Earth and Earth Resource Science 地球・地球資源科学		2		
		Earth and Geoenvironmental Science 地球・地球環境災害科学		2		
	必修科目	特別研究Ⅶc	10			
		セミナーⅦc	4			
高度専門科目	ファジィ情報学特論			2		
	先進ネットワーク特論			2		
	計算モデル学特論			2		
	プログラミング言語処理学特論			2		
	福祉情報学特論			2		
	知識発見学特論			2		
	ソフトウェア工学特論			2		
	計算機構成学特論			2		
	ユーザ中心システム設計学特論			2		
	理論計算学特論			2		
	知能情報処理学特論			2		
	アルゴリズム学特論			2		
	暗号理論特論			2		
	知識獲得特論			2		
	特別実習			1		
	☆応用情報学概論Ⅰ			2		
	☆応用情報学概論Ⅱ			2		
	☆応用情報学概論Ⅲ			2		
	☆応用情報学概論Ⅳ			2		
	☆応用情報学概論Ⅴ			2		
	☆応用情報学概論Ⅵ			2		
	☆計算機科学概論Ⅰ			2		
	☆計算機科学概論Ⅱ			2		
	☆計算機科学概論Ⅲ			2		
	☆計算機科学概論Ⅳ			2		
☆計算機科学概論Ⅴ			2			

科目区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択 必修	選択	
高度専門科目	実践教育プロジェクト			4	
	長期インターンシップ			2	
	海外インターンシップ			2	

備考

1 専攻共通科目の修得方法

英語教育科目，技術者教育科目及び高度基礎科目の中から6単位を修得しなければならない。

なお，専攻共通科目を6単位を超えて修得した場合には，修了要件に必要な単位数に含めることはできない。

2 他コースの高度専門科目は，本コースの高度専門科目の選択科目に置き換えることができるが，本コースの高度専門科目は6単位以上修得しなければならない。

3 ☆印の授業科目は，第7条の規定の適用を受ける学生以外の者は履修することができない。

機械・電気電子工学コース

科目区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択必修	選択	
専攻 共通科目	英語教育科目	学術英語演習		2		専攻共通科目6単位以上、必修科目16単位及び高度専門科目8単位以上を修得し、合計30単位以上修得すること。
		現代英語語法文法演習		2		
		英語運用演習Ⅰ		2		
		英語運用演習Ⅱ		2		
		英語運用演習Ⅲ		2		
		TOEIC対応英語演習		2		
	技術者教育科目	研究開発マネジメント (MOT) 基礎概論		2		
	高度基礎科目	物質科学基礎		2		
		物質科学ゼミナール		2		
		地球資源環境学基礎		2		
		数理科学基礎Ⅰ		2		
		数理科学基礎Ⅱ		2		
		情報科学基礎		2		
		機械電気電子システム基礎		2		
		建築・生産設計工学基礎		2		
		Earth and Earth Resource Science 地球・地球資源科学		2		
		Earth and Geoenvironmental Science 地球・地球環境災害科学		2		
	必修科目	特別研究Ⅷd	12			
		セミナーⅠ	2			
セミナーⅡ		2				
高度専門科目	特別計画研究			2		
	基礎応力解析			2		
	制御工学特論			2		
	機械設計工学			2		
	デジタル制御理論			2		
	応用応力解析			2		
	機械力学特論			2		
	ヒューマンインタフェース特論			2		
	音響工学			2		
	電磁波大気計測論			2		
	光応用計測論			2		
	光波工学			2		
	画像工学			2		
	光エレクトロニクス通信工学			2		
	コヒーレント光工学			2		
	エネルギー工学基礎論			2		
	統計的信号処理			2		
	固体量子物性工学			2		
	半導体フォトンクス工学			2		
	薄膜材料デバイス工学			2		
	先端電子材料設計特論			2		
	応用熱流体工学			2		
	技術英語演習			2		
	☆システム工学概論			2		
	☆エレクトロニクス概論			2		

科目区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択 必修	選択	
高度専門科目	特別実習			1	
	実践教育プロジェクト			4	
	長期インターンシップ			2	
	海外インターンシップ			2	

備考

- 1 専攻共通科目の修得方法
英語教育科目，技術者教育科目及び高度基礎科目の中から6単位を修得しなければならない。
なお，専攻共通科目を6単位を超えて修得した場合には，修了要件に必要な単位数に含めることはできない。
- 2 他コースの高度専門科目は，本コースの高度専門科目の選択科目に置き換えることができるが，本コースの高度専門科目は6単位以上修得しなければならない。
- 3 ☆印の授業科目は，第7条の規定の適用を受ける学生以外の者は履修することができない。

建築・生産設計工学コース

科目区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択必修	選択	
専攻 共通科目	英語教育科目	学術英語演習		2		専攻共通科目6単位以上、必修科目20単位及び高度専門科目4単位以上を修得し、合計30単位以上修得すること。
		現代英語語法文法演習		2		
		英語運用演習Ⅰ		2		
		英語運用演習Ⅱ		2		
		英語運用演習Ⅲ		2		
	TOEIC対応英語演習		2			
	技術者教育科目	研究開発マネジメント (MOT) 基礎概論*		2		
	高度基礎科目	物質科学基礎		2		
		物質科学ゼミナール		2		
		地球資源環境学基礎		2		
		数理科学基礎Ⅰ		2		
		数理科学基礎Ⅱ		2		
		情報科学基礎		2		
		機械電気電子システム基礎		2		
		建築・生産設計工学基礎		2		
		Earth and Earth Resource Science 地球・地球資源科学		2		
		Earth and Geoenvironmental Science 地球・地球環境災害科学		2		
	必修科目	特別研究Ⅸd		16		
		特別研究Ⅸe*		16		
セミナーⅨd			4			
高度専門科目	木質科学特論			2		
	木材基礎工学特論			2		
	木質分子生物学			2		
	木質建築学Ⅰ*			2		
	木質建築学Ⅱ*			2		
	アメニティ材料学特論			2		
	建築構造設計特論*			2		
	建築材料設計特論*			2		
	建築環境設計特論*			2		
	木質構造学特論*			2		
	建築設計特別演習Ⅰ*			2		
	建築設計特別演習Ⅱ*			2		
	建築設計特別演習Ⅲ*			2		
	建築設計・工事監理インターンシップⅠ*			4		
	建築設計・工事監理インターンシップⅡ*			6		
	建築設計・工事監理インターンシップⅢ*			4		
	機械加工学特論			2		
	資源再生工学特論			2		
	精密工学特論			2		
	機能材料特論			2		
	建築・生産設計特別実習			1		
	☆機械加工システム学概論			2		

科目区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択 必修	選択	
高度専門科目	☆材料工学概論			2	
	実践教育プロジェクト			4	
	長期インターンシップ			2	
	海外インターンシップ			2	

備考

- 1 専攻共通科目の修得方法
英語教育科目，技術者教育科目及び高度基礎科目の中から6単位を修得しなければならない。
なお，専攻共通科目を6単位を超えて修得した場合には，修了要件に必要な単位数に含めることはできない。
- 2 他コースの高度専門科目は，本コースの高度専門科目の選択科目に置き換えることができるが，本コースの高度専門科目は2単位以上修得しなければならない。
- 3 ☆印の授業科目は，第7条の規定の適用を受ける学生以外の者は履修することができない。
- 4 特別研究の修得方法
「特別研究IXd」，「特別研究IXe」のいずれかを選択し，16単位を修得しなければならない。
- 5 建築士試験のための建築実務経験に該当する科目（*印）を履修する者は，その履修方法について指導教員のガイダンスを受けること。

島根大学大学院総合理工学研究科規則別表第2
理工学際創成コース

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択必修	
専攻共通 高度実践教育科目	英語アカデミックスキルアップ セミナーⅠ		2	教育研究コース必修科目（論文研究，特別セミナー）6単位，専攻共通高度実践教育科目2単位以上，高度専門科目2単位以上の合計12単位以上修得すること。
	英語アカデミックスキルアップ セミナーⅡ		2	
	社会人実践研究 （企業滞在型実践研究）		2	
	知的財産と社会連携 （研究開発マネジメント科目）		2	
	特別実践研究Ⅰ（PBL型授業）		2	
	特別実践研究Ⅱ （長期インターンシップ）		2	
	教育指導特別実習Ⅰ		2	
	教育指導特別実習Ⅱ		2	
	研究指導特別実習		2	
	国際実践演習		2	
教育研究コース 必修科目	論文研究	4		
	特別セミナー	2		
高度専門科目	理工医学のための生物材料学		2	
	機能性物質・食品の医療応用と 環境影響		2	
	医生物学への数学・情報科学の応用		2	
	臨床医学と社会・環境医学への 高度情報学の応用		2	
	医療のための光工学		2	
	放射線の医療応用と同位元素の 水環境への影響Ⅱ		2	

備考

1 他コースの高度専門科目は，本コース高度専門科目の選択必修の単位数に含めることができる。

数理・物質創成科学コース

科目区分	授 業 科 目	単 位 数		備 考
		必修	選択 必修	
専攻共通 高度実践教育科目	英語アカデミックスキルアップ セミナーⅠ		2	教育研究コース必修科目（論文 研究，特別セミナー）6単位，専 攻共通高度実践教育科目2単位以 上，高度専門科目2単位以上の合 計12単位以上修得すること。
	英語アカデミックスキルアップ セミナーⅡ		2	
	社会人実践研究 （企業滞在型実践研究）		2	
	知的財産と社会連携 （研究開発マネジメント科目）		2	
	特別実践研究Ⅰ（PBL型授業）		2	
	特別実践研究Ⅱ （長期インターンシップ）		2	
	教育指導特別実習Ⅰ		2	
	教育指導特別実習Ⅱ		2	
	研究指導特別実習		2	
	国際実践演習		2	
教育研究コース 必修科目	論文研究	4		
	特別セミナー	2		
	有機光電変換薄膜		2	
	超伝導物性特論		2	
	量子理論物性学		2	
	応用結晶成長学特論		2	
	量子物理学特論		2	
	素粒子物理学特論		2	
	固体表面・界面物性学		2	
	磁性物理学特論		2	
	量子物性学特論		2	
	結晶材料解析学		2	
	焼結材料学		2	
	強誘電体物理学		2	
	低温物理学特論		2	
	核融合炉材料		2	
	高機能触媒開発工学		2	
	錯体化学特論		2	
	有機合成化学特論		2	
	有機材料科学特論		2	
	高機能触媒設計工学		2	
	粉体材料工学特論		2	
生物無機化学		2		
有機反応化学特論		2		

科目区分	授 業 科 目	単 位 数		備 考
		必修	選択 必修	
高度専門科目	光材料プロセス工学		2	
	分子機能化学特論		2	
	調光セラミックス特論		2	
	無機環境材料工学特論		2	
	構造有機化学特論		2	
	健康衣料素材学特論		2	
	環境物質循環化学特論		2	
	定性的微分方程式論		2	
	タイヒミュラー空間論		2	
	凸解析・非線形解析学特論		2	
	セミパラメトリックモデリング論		2	
	生物数学特論		2	
	複素幾何学特論		2	
	代数学特論		2	
	偏微分方程式特論		2	
	連続体理論とトポロジー		2	
	調和写像論		2	
	ホモロジー代数学特論		2	
	遅延方程式特論		2	
	エルゴード理論と力学系の解析		2	

備 考

1 他コースの高度専門科目は、本コース高度専門科目の選択必修の単位数に含めることができる。

地球科学・地球環境コース

科目区分	授 業 科 目	単 位 数		備 考
		必修	選択 必修	
専攻共通 高度実践教育科目	英語アカデミックスキルアップ セミナーⅠ		2	教育研究コース必修科目（論文 研究，特別セミナー）6単位，専 攻共通高度実践教育科目2単位以 上，高度専門科目2単位以上の合 計12単位以上修得すること。
	英語アカデミックスキルアップ セミナーⅡ		2	
	社会人実践研究 （企業滞在型実践研究）		2	
	知的財産と社会連携 （研究開発マネジメント科目）		2	
	特別実践研究Ⅰ（PBL型授業）		2	
	特別実践研究Ⅱ （長期インターンシップ）		2	
	教育指導特別実習Ⅰ		2	
	教育指導特別実習Ⅱ		2	
	研究指導特別実習		2	
	国際実践演習		2	
教育研究コース 必修科目	論文研究	4		
	特別セミナー	2		
高度専門科目	変成岩岩石学		2	
	岩石鉱物物理		2	
	地球資源共生学		2	
	有機資源地球物質科学		2	
	海洋資源循環学		2	
	地すべりダイナミクス学		2	
	地下流体解析学		2	
	地球表層物質循環学		2	
	古環境・古生態学		2	
	沿岸地質環境学		2	
	火成岩岩石学特論		2	
	生層序学特論		2	
	火山学特論		2	
	建築構造・住環境学		2	
	精密機械加工学		2	
	木質材料特性評価学特論		2	
	木質分子工学		2	
	生物材料工学		2	
	居住文化特論		2	
	建築計画デザイン学		2	
建築振動制御学		2		
建築論特論		2		
建築音響工学特論		2		

備 考

1 他コースの高度専門科目は，本コース高度専門科目の選択必修の単位数に含めることができる。

機械電子情報工学コース

科目区分	授 業 科 目	単 位 数		備 考
		必修	選択 必修	
専攻共通 高度実践教育科目	英語アカデミックスキルアップ セミナーⅠ		2	教育研究コース必修科目（論文 研究，特別セミナー）6単位，専 攻共通高度実践教育科目2単位以 上，高度専門科目2単位以上の合 計12単位以上修得すること。
	英語アカデミックスキルアップ セミナーⅡ		2	
	社会人実践研究 （企業滞在型実践研究）		2	
	知的財産と社会連携 （研究開発マネジメント科目）		2	
	特別実践研究Ⅰ（PBL型授業）		2	
	特別実践研究Ⅱ （長期インターンシップ）		2	
	教育指導特別実習Ⅰ		2	
	教育指導特別実習Ⅱ		2	
	研究指導特別実習		2	
教育研究コース 必修科目	国際実践演習		2	
	論文研究	4		
	特別セミナー	2		
高度専門科目	音環境情報工学		2	
	コンピューティングパラダイム特論		2	
	メディア構成論		2	
	計算機設計技法特論		2	
	言語処理系最適化特論		2	
	書換えシステム特論		2	
	適応型ユーザインターフェース論		2	
	先進ネットワーク論		2	
	光量子エレクトロニクス		2	
	応用解析特論		2	
	アドバンスト機械制御論		2	
	インタフェース計測特論		2	
	光通信論		2	
	混晶半導体工学		2	
	光波計測論		2	
	知能移動ロボット論		2	
	大気計測論		2	
	光起電力デバイス		2	
	光ファイバ応用工学論		2	
	画像工学特論		2	
	先端電子材料設計学		2	
	伝達装置設計の基礎理論		2	
	振動解析学特論		2	
複雑系熱流体工学特論		2		
非線形弾性力学特論		2		
応用電子計測特論		2		

備 考

- 1 他コースの高度専門科目は，本コース高度専門科目の選択必修の単位数に含めることができる。

島根大学大学院総合理工学研究科規則別表第3

【教育研究特別プログラム】（博士前期課程）

科目区分	専修分野	授業科目	単位数			備考
			必修	選択必修	選択	
高度基礎科目	COMMON FIELD 共通	Earth and Earth Resource Science 地球・地球資源科学	2			
	COMMON FIELD 共通	Earth and Geoenvironmental Science 地球・地球環境災害科学	2			
必修科目	COMMON FIELD 共通	Thesis Research 特別研究	12			
高度専門科目	Advanced Earth Science 先端地球科学	Metamorphic Petrology 岩石学特論			2	
	Advanced Earth Science 先端地球科学	Mineral Science of Transition Elements-bearing Minerals 鉱物学特論			2	
	Advanced Earth Science 先端地球科学	Structural Geology 構造地質学特論			2	
	Advanced Earth Science 先端地球科学	Advanced Petrochemistry 岩石化学特論			2	
	Advanced Earth Science 先端地球科学	Seminar 地球物質システム学セミナー		4		
	Advanced Earth Science 先端地球科学	Evolutionary Paleontology 進化生物学特論			2	
	Advanced Earth Science 先端地球科学	Stratigraphy and Sedimentology 層序学・堆積学			2	
	Advanced Earth Science 先端地球科学	Biostratigraphy 生層序学			2	
	Earth Resource Science and Technology 地球資源学	Metallic Mineral Resources 鉱物資源地質学			2	
	Earth Resource Science and Technology 地球資源学	Science of Fossil Fuel 有機地球化学特論			2	
	Earth Resource Science and Technology 地球資源学	Resource Geology 資源地質学特論			2	
	Geoenvironment and Natural Hazards 地球環境災害学	Earth Environmental Science 地球環境科学			2	
Geoenvironment and Natural Hazards 地球環境災害学	Theory of Global Environmental Change 地球環境変動論			2		

科目 区分	専修分野	授 業 科 目	単 位 数			備 考
			必修	選択 必修	選択	
高 度 専 門 科 目	Geoenvironment and Natural Hazards 地球環境災害学	Applied Ecology and Engineering 環境工学			2	
	Geoenvironment and Natural Hazards 地球環境災害学	Coastal Geoenvironmental Science 海岸・沿岸地質環境学			2	
	Geoenvironment and Natural Hazards 地球環境災害学	Quaternary Environmental Science 第四紀環境学			2	
	Geoenvironment and Natural Hazards 地球環境災害学	Seminar 環境地質学セミナー		4		
	Geoenvironment and Natural Hazards 地球環境災害学	Engineering Geology 応用地質学特論			2	
	Geoenvironment and Natural Hazards 地球環境災害学	Disaster Prevention Engineering 防災工学特論			2	
	Geoenvironment and Natural Hazards 地球環境災害学	Groundwater Hydraulics 地殻流体工学			2	
	Geoenvironment and Natural Hazards 地球環境災害学	Geotechnical Analysis 地盤解析学			2	
	Geoenvironment and Natural Hazards 地球環境災害学	Seminar 自然災害工学セミナー		4		
	Geoenvironment and Natural Hazards 地球環境災害学	Environmental Remote Sensing 地球環境リモートセンシング			2	
	Geoenvironment and Natural Hazards 地球環境災害学	Atmospheric Remote Sensing 大気リモートセンシング			2	
	Geoenvironment and Natural Hazards 地球環境災害学	Environmental Remote Sensing Seminar I 環境リモートセンシングセミナー I		2		
	Geoenvironment and Natural Hazards 地球環境災害学	Environmental Remote Sensing Seminar II 環境リモートセンシングセミナー II		2		
	Geoenvironment and Natural Hazards 地球環境災害学	Atmospheric Remote Sensing Seminar 大気リモートセンシングセミナー		4		
	Earth Resource Science and Technology 地球資源学	Utilization and Estimation of Resources 森林利用評価学			2	
	Earth Resource Science and Technology 地球資源学	Formation of Forest Resources 森林資源形成学			2	
	Earth Resource Science and Technology 地球資源学	Advanced Recycling Technology of Natural and Synthetic Polymers 資源再生工学特論			2	

科目 区分	専修分野	授 業 科 目	単 位 数			備 考
			必修	選択 必修	選択	
高 度 専 門 科 目	Earth Resource Science and Technology 地球資源学	Wood Science and Building Materials Engineering Seminar 材料工学セミナー		4		
	Earth Resource Science and Technology 地球資源学	Seminar in Machinery System 機械加工システム学セミナー		4		
	COMMON FIELD 共 通	Special Lecture in Earth and Geoenvironmental Science I 地球・地球環境科学特別講義 I			2	
	COMMON FIELD 共 通	Special Lecture in Earth and Geoenvironmental Science II 地球・地球環境科学特別講義 II			4	
	COMMON FIELD 共 通	Excursions in Earth and Geoenvironmental Science 地球・地球環境学エクスカージョン			2	
	COMMON FIELD 共 通	Seminars on Current Topics and Method 地球科学の話題と発表方法			4	
	COMMON FIELD 共 通	Seminars on Current Topics and Methods I 英語による発表 I			2	
	COMMON FIELD 共 通	Seminars on Current Topics and Methods II 英語による発表 II			2	
	COMMON FIELD 共 通	Special Practice I 特別実習 I			1	
	COMMON FIELD 共 通	Special Practice II 特別実習 II			2	

* 特別研究及びセミナー以外は、教育研究特別プログラムに所属しない者も履修することができる。

島根大学大学院総合理工学研究科規則別表第4

【教育研究特別プログラム】（博士後期課程）

科目区分	専修分野	授業科目	単位数		備考
			必修	選択必修	
高度専攻実践教育共通科目	COMMON FIELD 共通	Special Practice Research I 特別実践研究 I		2	必修科目（論文研究，特別セミナー）6単位，専攻共通高度実践教育科目0～4単位，高度専門科目2～6単位以上（このうち、所属する専修分野の講義科目は、2単位を必修とする。）の合計12単位以上修得すること。
	COMMON FIELD 共通	Special Practice Research II 特別実践研究 II		2	
	COMMON FIELD 共通	Special Practice for Academic mentoring I 教育指導特別実習 I		2	
	COMMON FIELD 共通	Special Practice for Academic mentoring II 教育指導特別実習 II		2	
	COMMON FIELD 共通	Special Practice for Technological mentoring 研究指導特別実習		2	
	COMMON FIELD 共通	Practice for International presentations 国際実践演習		2	
必修科目	COMMON FIELD 共通	Thesis Research 論文研究	4		
	COMMON FIELD 共通	Seminar 特別セミナー	2		
高度専門科目	Advanced Earth Science 先端地球科学	Metamorphic Petrology 変成岩岩石学		2	
	Advanced Earth Science 先端地球科学	Rock and Mineral Physics 岩石鉱物物理		2	
	Advanced Earth Science 先端地球科学	Advanced Organic Geochemistry 有機地球化学特論		2	
	Advanced Earth Science 先端地球科学	Micropaleontology 微古生物学		2	
	Advanced Earth Science 先端地球科学	Advanced Sedimentology 堆積学特論		2	
	Advanced Earth Science 先端地球科学	Advanced Igneous Petrology 火成岩岩石学特論		2	
	Advanced Earth Science 先端地球科学	Advanced Biostratigraphy 生層序学特論		2	

科目 区分	専修分野	授 業 科 目	単 位 数		備 考
			必修	選択 必修	
高度 専門 科目	Advanced Earth Science 先端地球科学	Advanced Volcanology 火山学特論		2	
	Earth Resource Science andTechnology 地球資源学	Mineral Science of Organic Natural Resources 有機資源地球物質科学		2	
	Earth Resource Science andTechnology 地球資源学	Groundwater Modeling 地下水モデリング		2	
	Earth Resource Science andTechnology 地球資源学	Ultization Engeneering of Forest Resources 森林資源利用工学		2	
	Geoenvironment and Natural Hazards 地球環境災害学	Civil Water Environmental Science 都市の水環境科学		2	
	Geoenvironment and Natural Hazards 地球環境災害学	Landslide Dynamics 地すべりダイナミクス学		2	
	Geoenvironment and Natural Hazards 地球環境災害学	Environmental Changes and Natural Disasters Recorded in Stratigraphic Successions 地層から読む環境変化・自然災害		2	
	Geoenvironment and Natural Hazards 地球環境災害学	Paleoenvironmentology and Paleoecology 古環境学・古生態学		2	
	Geoenvironment and Natural Hazards 地球環境災害学	Coastal Geoenvirmental Science 沿岸地質環境学		2	
	COMMON FIELD 共 通	Effective Manuscript Preparation A 論文執筆計画A		2	
	COMMON FIELD 共 通	Effective Manuscript Preparation B 論文執筆計画B		2	
	COMMON FIELD 共 通	Special Lecture in Earth and Geoenvironmental Science I 地球・地球環境科学特論 I		1	
	COMMON FIELD 共 通	Special Lecture in Earth and Geoenvironmental Science II 地球・地球環境科学特論 II		2	

* 論文研究及び特別セミナー以外は、英語による「地球」教育研究特別プログラムに所属しない
者も履修することができる。